

図書館だより

北豊島工業高校図書館

1月、1年間の締めくくりの3学期がスタートします。

3年生の登校期間もあとわずかですね。3年生は最後の高校生活を充分エンジョイしてください。1、2年生も進級に向け、がんばりましょう。3学期、未返却の図書が手元にある人は、忘れずに返却をしてくださいね。

今月の図書館前廊下展示ケースの特集は「平和な未来を築くために」です。

2023年もよろしくお願いします！

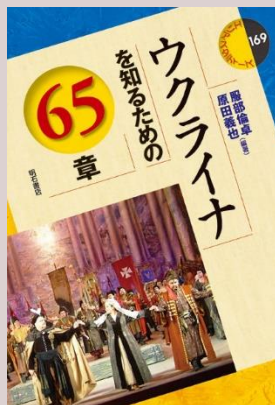
北豊島工業高校図書館 高木千里

特集展示 「平和な未来を築くために」



ロシアがウクライナを侵攻し始めたのは、2022年2月の事です。では何故ロシアはウクライナに攻め込んだのでしょうか。そして現在もなお、現地では戦闘と混乱が続いています。では何故世界はこの戦争を止められないのでしょうか。日本に住む私たちにとっても、戦争は、決して他人事でも遠い過去の歴史でもありません。ロシアのウクライナ侵攻から国際情勢を知り、そこから戦争の惨禍やなぜ戦争が起きるのか、日本の戦争の歴史と核兵器断絶への道のり、これから皆さんが平和な未来を築くためには何をすべきなのかを、本を通じて考えてみましょう。

特集展示からのおすすめ本



「ウクライナを知るための65章」
302.3ハ



「絵で見てわかる
核兵器禁止条約ってなんだろう？」
319.8カ



「世界も果てのこどもたち」
913.6ナ

新着図書のおすすめ本のコーナーです。

12月新着図書からのおすすめ本

「16歳の仕事塾」

堀部伸二・山岸慎司/著 中央経済社 366 頁

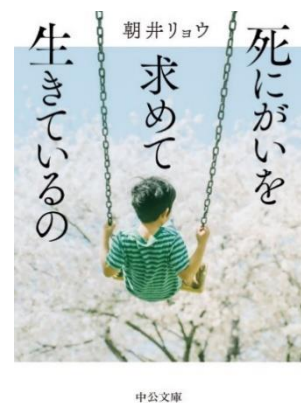
「自分はどんな仕事がしたいのか」「世の中にはどんな仕事があるのか」高校生の時点で、将来の仕事についてはっきりとしたイメージを持つことは難しいかもしれません。けれども高校生の今こそそれを考えることがとても重要なのです。自分自身の将来のあり方や人生の見通しをたてていくこと、その手助けをしてくれる一冊です。勉強のように正解や模範解答がないからこそじっくりと自分に向き合ってみましょう。



「死にがいを求めて生きているの」

朝井リョウ/著 中央公論新社 B913.6 ア

生きがいという言葉はよく耳にしますが、死にがいという言葉は聞き慣れないでしょう。6人の人物が登場するこの小説は、それぞれの人生に様々なかたちで関わるもう一人の人物を通して、現代社会の闇が描かれています。周囲との比較でしか自分を確かめられない彼ら、ナンバーワンよりオンリーワンは素晴らしい考えかもしれませんが、結局自らが「あの人以上に劣っている」と言い聞かせなければならない悲しみがそこに存在しているのです。「暗闇が晴れる音がする。」そんな一文で物語は終わります。



【北豊島工業高校図書館からのお知らせ】

図書館カウンター近くに、新たに新書コーナーをつくりました。「新書」とは、文庫より少し大きめの型で、軽い教養ものや小説などをおさめた本のことです。このコーナーでは、高校生が初めて新書を読むときにおすすめのシリーズを紹介していく予定です。

